



ふじみ

題字：福田 常雄 氏

第 151 号

平成29年7月1日

社会福祉法人みちのく協会
理事長 工藤 和子
特別養護老人ホーム富士見荘
地域密着型介護老人福祉施設はらからの里
松尾デイサービスセンター
ケアハウスアーベイン八幡平
介護相談所陽だまり
(富士見荘指定訪問介護事業所・富士見荘指定居宅介護支援事業所)

岩手県八幡平市松尾寄木第11地割13番地1
電話 0195(78)2455(代) FAX 0195(78)2467
E-mail fujimiso@rnac.ne.jp
URL http://www.rnac.ne.jp/~urbane/

「決意をあらたに」

社会福祉法人 みちのく協会
理事長 工藤 和子

平成二十九年も早や七月に入り、時のたつ早さにおどろきつつも、みちのく協会の各事業所をご利用されている皆さまをはじめ、そのご家族、そして地域の皆さまに励まされながら日々を積みかさねてきております。本当にありがたいことと深く感謝しております。

さて、昨年度、社会福祉法の改正があり、社会福祉法人として、法令遵守はもとより、その透明度を高め、社会からの要請に真摯にこたえる組織づくりが求められているところであります。当法人においても、改正法の主旨に従い、組織の編成に取り組み、改正法のもとで役員の選任の手続きが滞りなく進められ、次の皆様（別表のとおり）が選任され、また、不肖私が理事長としての仕事を担当することになりました。

改正された社会福祉法では、理事会と評議員会の役割が見直され、評議員会が重要事項の決定機関となり、理事会が業務執行機関の位置づけになることなど社会福祉法人の活動を展開する環境が大きく変わってきております。

また、社会福祉法人としての活動は、介護等の要支援者のみを対象にするのではなく、広く地域のニーズに対応できる力量を備えることも求められております。

このように、みちのく協会を取り巻く環境は年々厳しくなっておりますが、そのような中にあっても、励まして下さる方々の期待に応えるよう、また、法が求める社会福祉法人としての姿を実現するよう、新しい制度の中で選任されたという自覚のもと決意をあらたにして役職員共々努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

社会福祉法の改正により、左記のとおり役員が選任され、それぞれ就任いたしました。

平成二十九年年度 社会福祉法人みちのく協会

理事長 工藤 和子 (八幡平市)

理事 箱石 裕 (八幡平市)

関口 匠子 (八幡平市)

一ノ宮 嘉道 (八幡平市)

葛 行彦 (八幡平市)

中川 剛一 (矢巾町)

監事 中軽米 明彦 (八幡平市)

藤田 昭利 (花巻市)

評議員 道尻 和彦 (八幡平市)

平山 順子 (八幡平市)

立柳 秀範 (八幡平市)

田村 恵美子 (八幡平市)

高橋 京一 (八幡平市)

佐々 久幸 (滝沢市)

中軽米 こう子 (八幡平市)

西舘 政美 (盛岡市)

特別養護老人ホーム

富士見荘

☎(0195) 78-2455

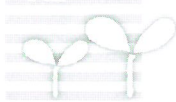
富士見荘の玄関が

きれいになりました

富士見荘の玄関の柱が長年の風化により、塗装が剥げ、さび付いているのがとどころに見られました。来荘された方の目にもとまったかもしれません。きれいな玄関でお客様をお迎えできるようにと、この度富士見荘の玄関周りのお色直しをしました。柱も入口の自動ドアもきれいになり、普段通っている職員も思わず振り返り、その新鮮さを味わうほどです。来荘された際は、上を見て下を見て、前を見てお入りください。

富士見荘の畑に

苗が植えられました



みなさん、富士見荘に畑があるのをご存知ですか？裏にりんごや桃の果樹園があることは施設見学をされた方に紹介させていただいたので、御存じの方も多いと思いますが、実は職員がささやかに植えているものもあります。トマト、ナス、キュウリ、二十日大根など様々。入居者さんと一緒に収穫する日が楽しみです。



富士見荘夏祭り

期日：平成29年8月9日(水)

第1部 16:00～

第2部 18:00～

場所：富士見荘庭園（雨天時はホール）

※富士見荘の庭園には駐車できません。

車でお越しの際は富士見荘裏の駐車場、アーベイン八幡平、東八幡平病院、柏台小学校の駐車場をご利用ください。

皆さんのお越しを
お待ちしております。



内容：八幡平太鼓、盆踊りやさんさ踊りなどの余興、打ち上げ花火、屋台を始めとした売店販売を行う予定です。

はらからの里

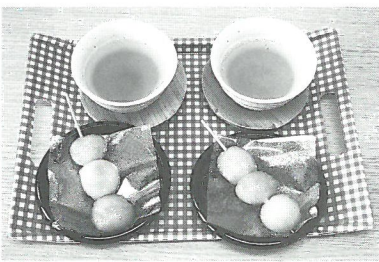
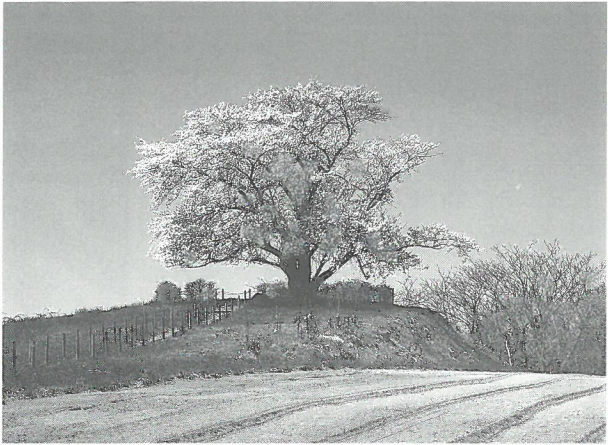
地域密着型介護老人福祉施設

☎(0195) 68-7880

お花見ドライブの日のおやつは

暖かい日が続き、ゴールデンウィークには桜が満開となりました。施設周辺には桜の名所がたくさんあるので、五月の陽気に誘われてお花見に出かけました。為内の一本桜もきれいに咲いていました。写真でお伝えできないのが残念ですが、きれいな青空で、お花見日和でした。

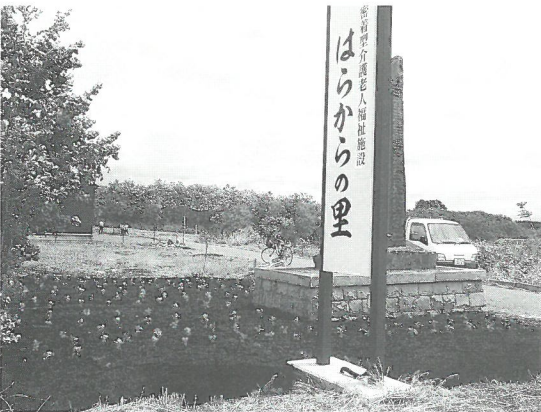
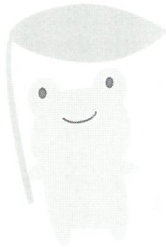
さて、よく「花より団子」と言いますが、この日のおやつは、もちろん花見団子。栄養士手作りなので、施設の中は美味しそうな匂いに包まれました。



小さい頃にあこがれた傘

ある朝、出勤してきた職員がせっせせせと車から荷物を降ろしていました。その手には大きな秋田ふきがたくさん。秋田ふきは、傘になるほど大きなふきで、小さい頃に見たジブリのアニメを思い出しました。(調べてみるとジブリのアニメで使用されていたのは里芋の葉らしいのですが。)そのふきを持って、ユニットを回って歩くと、入居者の皆さんが「ほく」「大きいな」と手を伸ばし、やはり傘のようにかぶっていました。手にとるとつかふりたくなるのは、いくつになっても同じだなと思いました。

お気づきになった方もいるかもしれませんが、はらからの里の記事は食べ物話題が続いています。という事は、今回も(笑) 写真を撮った後はもちろん調理して美味しく頂きました。



花壇整備

はらからの里に待望の花壇が、整備されました。花壇には、職員が愛情込めて種から育てた約二七〇本の赤色と黄色のマリーゴールドの苗が、芝桜の会の会員の方の協力を得て植えられました。綺麗な花が咲くのが楽しみです。

花壇の整備は一年の構想を経て完成しましたが、完成までには、松川土地改良区様、(株)高建重機様、芝桜の会様などたくさんの方々のご協力のおかげで完成しました。ありがとうございます。



松尾デイサービスセンターだより

二十九年度事業計画

新年度を迎えてから早いものでもう三か月が経過いたしました。前号の機関紙でデイの改修について記載しましたが、今年度も施設整備等を計画しておりますので、その紹介をいたします。

一、マイクロバスの更新

マイクロバスを二台所有しており、そのうち一台については平成六年製ですので、今年で二十三年目となります。ボディーの腐食が進んできましたので、このまま使用するの送迎サービスの低下になるとの思いから、更新資金の工面に悩んでいたところ、八幡平市から補助金を受けることとなり、おかげさまで今年度実現できることとなり十月には新車をお披露目できます。

二、サンルームの増設

入浴で使用したタオル等洗濯物が毎日多く出るので、家庭用洗濯機二台を稼働し対応しております。洗濯機に乾燥機能もついてはいますが、時間もかかりますし日光に当てることで除菌・消臭効果もあり何より乾きが早い！ということで柏台温泉との渡り廊下を利用して物干ししている現状です。

しかし、避難経路にもなっており好ましくないので、サンルーム(物干し場)の増設を行うことといたしました。見た目にもすっきりとして気持ちよくなることでしょう。

吹き矢大会

以前よりデイサービスでは余暇活動にて吹き矢を行っていましたが、今年度より新たに吹き矢大会を開催する運びとなりました。スポーツ吹き矢は年齢・身体の障害問わず行えるスポーツで、デイサービス利用者さんの中には、迫力あるスピードで矢を放つ方もいらっしゃいます。

腹式・胸式どちらの呼吸法も使用するため、健康増進に良くその他にも血行促進や細胞活性化にも良いと言われています。

さあ、第一回目の大会で栄冠を手にする方はどなたでしょうか！



お花見ドライブ

四月三十日～五月六日迄、毎年恒例のお花見ドライブに出かけてきました。

今年は昨年より開花宣言が遅れた様で、当初の予定より一週間遅れで桜が満開になり県立大学や八幡平市内・県民の森方面へ行って来ました。

県立大学では付近を散策し、お茶を飲みながら昔話を楽しんだり、天候にも恵まれ春の香りを楽しんで来る事が出来ました。他事業所からも花見に訪れており、先を越されて腰かけるベンチが不足したこともありました。(笑)

また、地元の花見も負けず劣らず桜の他に白やピンクのモクレンもとても綺麗に咲いていました。「綺麗だなあ。天気も良くて最高！」との声が聞かれ心身ともにリフレッシュできた外出行事になりました。

なお、期間中の昼食は色とりどりのお花見弁当を食べて、お料理でも春を楽しむことが出来ました。

来年も皆さんと満開の桜を見に行くのが今から待ち遠しいです。



八幡平市柏台二丁目9番地2号
電話 〇一九五―七八―三七二〇

リゾート型ケアハウス
アーベイン八幡平
 ☎(0195) 78-2710

「より充実した日常生活を」

ケアハウスアーベイン八幡平

施設長 箱石 裕

梅雨も明け、緑も色鮮やかになり、そのエネルギーをあびて、私たちの日常生活も一層活発になる季節となりました。アーベイン八幡平の日常も同様に、その快適さを求めて様々な活動に取り組んでおります。昨年と大きく変わるところはありませんが、柱は一つ「あたり前の生活をあたり前に過ごす生活の実現」です。普通に言えば、春には「花見」というような季節感あふれる活動、衣食住の快適さを求める買物や健康維持のための外出、あるいは趣味創作活動などがその「あたり前」でしょうか。

先般、当法人の理事会において、平成二十八年度の事業について報告したところですが、その内容の一部を紹介します。

先ず、買物をサポートする送迎を月五〜六回行い、延べ二百十余名の皆様が利用しておりました。また買

物以外の通院などの所用のための外出へのサポートには、随時対応し、延べ二百八十余名が利用しているなど入居の皆様の日常生活の充実に役立つ活動に取り組みました。

季節を愛でる活動は「ドライブ」という企画で、毎月一回年間を通して行いました。「弘前」は言わずと知れた「桜の花見」、「花巻」はバラ園での「バラの鑑賞」、そしてサクランボ狩りや紅葉狩り、冬には「小岩井」の「イルミネーションを楽しむ」企画が好評でした。この「ドライブ」という企画の中には普段はあまり行くことのない「イオン前潟」や「イオン洪民」「八食センター（八戸）」へのショッピングサポートも盛り込まれております。季節感といえば、はずすことのできない「夏祭り」「クリスマスパーティー」も職員あげて取り組み、とてもにぎやかに、そして華やかに終えることができたのではないかと自負しております。

屋内活動としての趣味創作活動へのサポートですが、合唱セミナー月二回、カラオケ月一〜二回、コーラス週一回の音楽活動の他、布アートの二回、手芸、折紙が週一回などの活動を支援しております。

この他に看護師による健康相談や定期的な血圧測定を随時行い、入居の皆様の健康への関心に対応できるように配慮しております。

以上、昨年度の活動の一端をご紹介しましたが、今年度においても、昨年度以上の快適さを求めて活動を展開することにしております。どうぞよろしくお願いいたします。

「アーベイン八幡平の栄養」



アーベイン八幡平の栄養士國枝からは、快適な衣食住の中の食についてお話をいたします。

食財には季節を楽しむ旬がありま す。春には香りを楽しむ山菜、夏には体を冷やす夏野菜、秋には稔りの秋で様々な食材が豊富に収穫、冬には体を温める根菜類。旬を食べるという事は体に必要な事と言ってもよいと思います。それらの食材も使いながら、アーベイン八幡平の行事食（土用の丑の日や夏祭りやクリスマス会やお正月等々）も楽しんで頂いております。

栄養素的に見ますと平成二十八年度はビタミンB₁が目標値に対して八十四パーセントでした。

昔は玄米を食べていたのでビタミンB₁欠乏することは少なかったようですが、江戸後期から明治にかけて多発し多くの死者を出したようです。江戸後期、江戸は米が豊富にあり、地方よりも白米を食べる習慣が浸透していました。銀シャリは江戸っ子の何よりの御馳走で、おかずは質素でも、白米をたっぷり食べることがステイタスだったようです。

参勤交代や商売で地方から江戸に滞在すると体調不良になり帰郷するとなおる。これはビタミンB₁不足による脚気（かつけ）でした。また、白米になり軍人もビタミンB₁欠乏症からなる脚気（かつけ）に苦しんだようです。当時は脚気（かつけ）の原因がビタミンB₁不足だと言うことがわかっておらず伝染病だと考える医師も少なくなかったといえます。改善されてきましたが、現代ではインスタント食品等の普及により食生活が偏ってビタミンB₁不足が増えてきているようです。

ビタミンB₁は熱に弱く水に溶けやすいため調理の際に損失が大きいビタミンなので体に取り入れにくいビタミンですが旬を楽しんでもらい、栄養素も気を付けながら提供したいと思っております。（國枝）



社会福祉法人 みらのく協会 基本理念

社会福祉法人みらのく協会の基本理念は「愛と献身」です。利用者一人ひとりの気持ちを大切に、心とこめた介護をいたします。

筆 流

題字 関口作治氏

富士見荘の動き

4	27	布アート教室
5	17	喫茶の日
	27	家族会総会
	31	総合避難訓練
6	1	利用者懇談会
	15	らふたあヒルズラーメン慰問

富士見荘利用者状況

(平成29年6月1日現在)

市 町 村	男	女	計
八 幡 平 市	15	54	69
岩 手 町	0	4	4
その他市町村	0	2	2
合 計	15	60	75

富士見荘入退居者状況

入居者	4月			退居者	2	
	2	(1)	(0)		(0)	
	5月	1	(0)		0	(0)
	6月	0	(0)	0	(0)	

※入居()内は再入居。退居()内は死亡。

※平成29年6月9日現在

配食サービス

人数	月	4月	5月	6月
	利用者数		286	294

富士見荘短期入所生活介護

市 町 村	4月	5月	6月
八幡平市	199	259	213
他市町村	28	24	25
合 計	227	283	238

編集後記

六月は入梅の季節で、じめじめとした気分の晴れないお天気が続きますが、この時期におめでたいことがあると言えば、ジューンブライドですね。私の周りでは結婚する人が続出し毎年焦りを感じております(泣)

しかしなぜ六月なのか、皆さんご存知ですか？ヨーロッパでは、六月は一年の中で一番天気の良い月であり、またギリシャ神話で結婚の女神の月であるため、六月に結婚をする人が多くいるそうです。しかし日本にはどちらの理由もあてはまりません。なぜなのか。

実は日本の企業戦略とのこと。日本では六月は雨が多いため結婚する人が少なく、ホテル業界としては儲けが少ない時期でした。それを打開しようと、ヨーロッパのジューンブライドに目をつけ宣伝したところ、日本でも六月に結婚する人が増え、普及していったそう。バレンタインやクリスマスもまた然り。イベントの裏ではこういった企業の工夫が施されていることをしみじみ感じながら、独身の立場としては友人の結婚祝いでお財布の寂しさを感じる季節でもあります。

(関川)